

○事業所名	富坂子どもの家		
○保護者評価実施期間	2025年11月21日		～ 2025年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年11月21日		～ 2025年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	モンテッソーリ教育法による発達支援 ・個々のお子さんの興味・関心・自発性を大切にした支援 ・様々な具体的な体験から抽象化への概念形成を促す ・日常生活の中での社会性の育ちを子ども同士で育む ・児童発達支援5領域に対応した発達詩編	・モンテッソーリ教具・教材群を秩序立てて棚に置き、子どもが多くの選択肢の中から自分の興味関心に沿って活動を選べるようにしている ・訓練をするのではなく、子どもの興味のある活動を集中して繰り返し主体的に取り組む結果として、運動・感覚・認知・コミュニケーション・社会性などが無理なく育って子どもに自信がついてくるという学びのサイクルを大切にしている	・児童支援計画の具体的な支援内容に家庭でも取り入れやすいモンテッソーリ活動を盛り込み家庭と共有する ・モンテッソーリ保護者向け講座や保育参観の実施継続により、「子ども観」や子どもの理解を深める取り組みをする
2	自然豊かな園庭・隣接の保育園園庭において、のびのびと体を動かせ自然を体験できる環境と、広い保育室に豊富な教材群と物理的環境が室内・屋内と整っている	・観察コーナーの常設、旬の果物や野菜、昆虫を自由に触れたり観察できるようにして、本物に触れる、においをかく、味わうなどの感覚の実体験をものにした具体から抽象への橋渡しを大切にしている ・両園の趣の異なる園庭を活用し坂道や飛び石、樹木のトンネルなど楽しみながら探検し様々な体の使い方を体験している	園庭の植物や野菜を育てる具体的な実体験を、お子さんの発達段階に応じて抽象化や概念形成に発展させていく活動の準備をする 例：園庭の植物や野菜の名前カードや絵本作り等 専用園庭の乗り物置き場の整備
3	個々に合わせた家族支援	・相談事に対して、相談しやすい様に対面のみでなく、LINEなどのツールを活用して、常時連絡事項や相談事を発信できる体制を整えている。相談事が発生したら、なるべく早くの即日を含め、相談日時を設定して個別面談を随時している。 ・必要に応じて関連機関や医療機関との連携や紹介	・在園児保護者同士交流の機会の充実 ・卒園児など年代別の先輩保護者の学校生活や将来に向けての話を聴く保護者の集いの機会を設ける ・兄弟児（兄や姉）の子どもが家体験の機会を設ける

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎サービスがない	・弊事業所での発達支援サービス利用を希望しているが、就労している保護者にとり、お子様の登降園の送迎が困難なためやむなく利用を諦めお子さんに必要な発達支援がタイムリーに受けられない現状がある ・運営面の問題から送迎車や運転手人材の確保が難しい	・就労していて送迎困難な保護者に対してのファミリーサポートや民間送迎サービス、行政によるサービスや相談先の紹介をする ・土曜日の不定期開所を検討
2	・完全バリアフリーではないため、未独歩の幼児の単独通園グループへの受け入れができない状況になる。	未独歩のお子さんを安全に受け入れる人員（個別でグループの間支援する）が確保できない	人員を充足できるための財源の確保
3	土曜日、日曜日、祭日のサービス提供がない	週末のご家族での時間やお子さんの休息の大切さを大切に考えているため平日の開所になっている	土曜日の不定期開所を検討